



# 登別の魅力を全国へ

登別紹介映像作品市内ロケ

7/  
1~5

▲緊張した表情で撮影に臨む市民（左4人）

7月1日(金)～5日(火)、市内  
で市制作の登別紹介映像作品  
『きらり登別』（仮題）の撮  
影が行われました。

この作品は、今年度の特別  
予算枠に設けられた『明日の  
まちづくり事業』の一つで、  
自然や市民の暮らしなど、温  
泉や観光だけではない登別の  
魅力を映像で全国に発信する  
もので、少年と少女の誕生と  
成長の過程を、登別にまつわ  
る物語として描く約10分の作  
品となる予定です。

監督は、平成20年に公開さ  
れた北海道洞爺湖サミット記  
念上映作品『KIZUKI』  
の監督や、平成21年に登別温  
泉で開催された『スパトライ  
アスロン北海道大会』の映像  
プロデューサーを務めた瀬木  
直貴さんがメガホンを取り、  
出演者の応募をした市民約60  
人が撮影に参加しました。  
作品は、8月下旬までに完  
成し、市のホームページなど  
で公開を予定しています。



▲ペットボトルでアクセサリを作る子どもたち

# 楽しみながら

エコ体験

7/  
3

リサイクルまつり11イン登別・白老  
7月3日(日)、クリンクルセンターで『リサ  
イクルまつり11イン登別・白老』（登別市・  
白老町主催）が行われ、約1千人の参加者で  
にぎわいました。

クリンクルセンター内を見学しながらスタ  
ンプを集めると、たい肥と交換ができる『ク  
リンクルスタンプラリー』は、開始前から行  
列ができる盛況ぶり。『紙すき・絵手紙作り  
体験』や『ペットボトル工作教室』などの体  
験コーナーは、大人から子どもまでが真剣な  
表情でそれぞれの作品を作り、楽しみながら  
環境保護への理解を深めました。